

新型コロナウイルス感染症

「第6波」突入 オミクロン株緊急対策

オミクロン株による感染拡大によって、市内でも年明け以降、帰省あるいは家族や友人との会食に端を発した感染者が急増しており、すでに8割近くがオミクロン株に置き換わったと思われまます。今や「第6波」の渦中で、これまでにない感染爆発を警戒すべき状況にあります。

＜警戒すべきオミクロン株の特徴＞

- 高い伝播性：デルタ株の3倍程度と強い感染力。
- 短い潜伏期間：デルタ株では5日程度であった発症までの期間が、3日程度に。
- ブレークスルー感染：県内のオミクロン株感染確定者の大半がワクチン接種済。

オミクロン株は重症化リスクが低いといわれていますが、今後、爆発的に感染者が増加すれば、一定程度は重症患者が出るのが想定され、医療提供体制を揺るがすのみならず、多くの方が感染者や濃厚接触者となることによって、社会・経済の基盤となる様々な領域が機能停止に至る可能性があります。感染爆発を防ぎ、ご自身や大切な家族の命、そして社会経済を守るため、一人ひとりの感染防止対策の徹底をお願いします。

令和4年1月12日 岐阜市長 柴橋 正直

感染防止対策の強化

「基本的感染防止対策」の継続

- ✓ 「マスクの着用」、「手洗い・手指消毒」、「こまめな換気」、「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）のうち一つでも回避」、「体調不良の時は、全ての行動ストップを！」

「移動」

- ✓ まん延防止等重点措置区域などの感染拡大地域への不要不急の移動は極力回避を！やむなく移動する場合は、極力日帰りとし、出発前及び帰宅時の検査受検を推奨！

「飲食」

- ✓ 大人数・長時間は避ける（4人まで、2時間以内が目安）！
- ✓ 「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー取得店舗（第三者認証店）」を利用し、マスク会食（食事中は静かに。会話はマスク着用。）を徹底！



イベント等（新年会・互礼会などを含む）の感染防止対策

- ✓ 県の「イベント等に係る当面の開催方針」に沿って開催。

- 参加者の「マスク着用」、「手指衛生」を徹底。
- 人と人との距離（できるだけ2m、最低1m）を確保するため、参加人数を制限するなど「密を回避」。
- 会場内は、「こまめな換気」を徹底。
- 開催時間は可能な限り短縮を検討。
- 立食形式から持ち帰り形式に見直すなど、飲食機会を回避。
- 会場内で大声を出さないよう徹底。
- イベント毎に「ぎふコロナガード」を選定し、上記対策を実施・徹底。

BCP（事業継続計画）の再確認・徹底

- ✓ あらゆる事業所において、組織内感染やクラスター発生等により、大幅に事業活動が低下することを想定したBCPを再確認（未策定の場合は、早急に策定）。